

2 時間目ワークシート①

学科

氏名

学科で育成していると思う非認知能力と、それらが重要と思う理由を書きだしてみてください。

非認知能力	具体的な背景や文脈	関連のつよさ		
		スローガン・DP	業界のニーズ	入学時の状況
【例】「表現力」	- ホテル業界では、お客様の手足となることが求められる - ブライダル業界では、お客様の思い描いていることを、音楽や会場のセッティングの仕方等様々な方法で演出することが重要である	◎	◎	○

選んだ非認知能力（

）

グループ名 _____

職業専門的側面

社会人基礎的側面

選んだ非認知能力（ 気づく力 ）

例

職業専門的側面

- ・ お客様の行動を観察していく力。客観的に物事を考え、答えのないことに対して自分で課題を発見していく力。
- ・ 先輩のしている作業を見て、指示される前に次何が求められるかを見極め、行動する力。

社会人基礎的側面

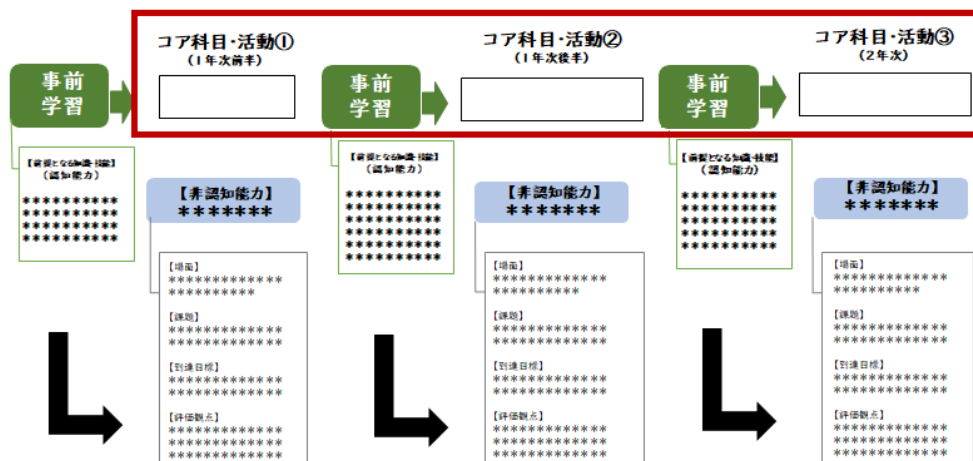
- ・ 最低限の目配り・気配り

■事前課題

- ・事前課題は「チーム単位で行っていただく内容」「個人単位で行っていただく内容」の2つがあります(【チームで実施】【個人で実施】)。
- ・事前ワークは本ワード資料①を中心に組み組んでいただき、適宜、資料②も参照しながら組み組んでいただければと思います。
※先に、ワード資料の内容に沿って事前課題に取り組んでいただき、その要約を資料②のシートに記入する形で活用いただければと思います。
- ・当日の研修は、下記(1)～(6)の内容について同じ学科・コースの先生方と事前検討をいただいていることを前提にスタートしますので、お忙しい中大変恐縮ですが、事前課題への取り組みをお願い致します。

(1) 【チームで実施】

担当の学科・コースのカリキュラムマップ、行事予定表をご覧になり、あなたの学科・コースにおいて最も重要な非認知能力(研修2時間目に実施)を育成・評価する上で、コアとなるとと思われる科目・行事を下記メモ欄に記入ください。



【メモ欄】

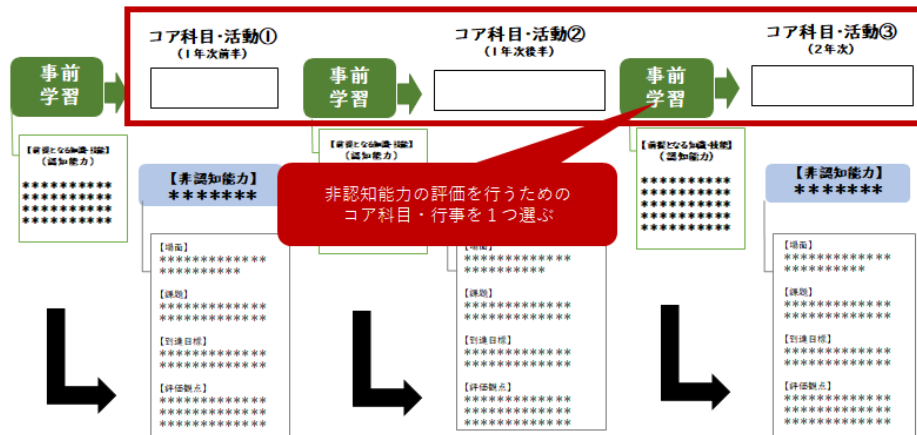
(2) 【チームで実施】

(1)で挙げた科目・行事が最も重要な非認知能力を育成する上で「コア」になると考える理由を、学校の理念やディプロマポリシー（DP）、業界ニーズ、入学学生の現状、時期の必然性等との関連性を考慮しながらご記入ください。

【メモ欄】

(3) 【チームで実施】

上記の2～3のコア科目・行事のうち「あなたの学科・コースにおいて最も重要な非認知能力」を育成する上で「最もコアになる」科目・行事を1つ選び、その理由を記入ください。



【メモ欄】

(4) 【個人で実施】

(3)で選択した「最もコアになる科目・行事」で非認知能力の発揮状況を評価するにあたり、その前提として必要になる「科目」(非認知能力の発揮に必要な基礎的な知識・技能)を記入ください。

例) ホテルブライダル学科の場合

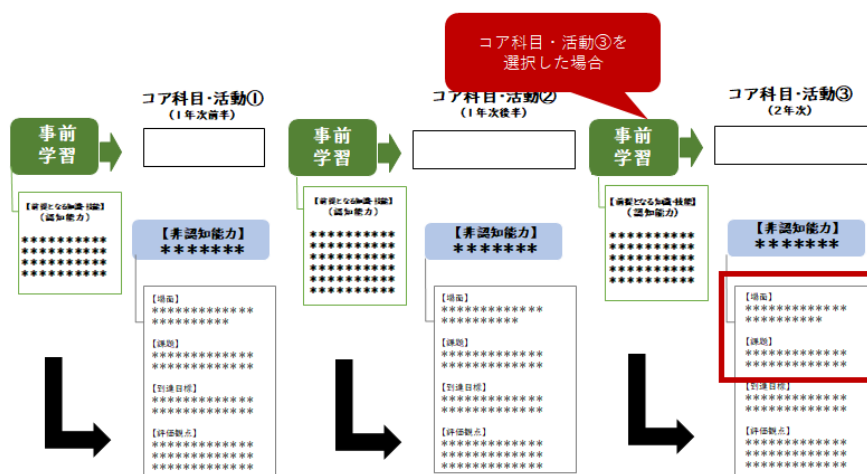
「最もコアになる科目・行事」に「模擬挙式」を選択し、そこで「協働性」の発揮状況を評価する場合、前提知識として「ウェディングプランニング」「ドレスコーディネート」などの基礎的な知識やスキルが必要。



【メモ欄】

(5) 【個人で実施】

(3)で選択した「最もコアになる科目・行事」の①どのような場面(状況)で、②どのような課題を課すことを通じて、非認知能力を評価しますか？ 非認知能力を評価する場面と課題について、できる限り具体的に記述してください。



【メモ欄】

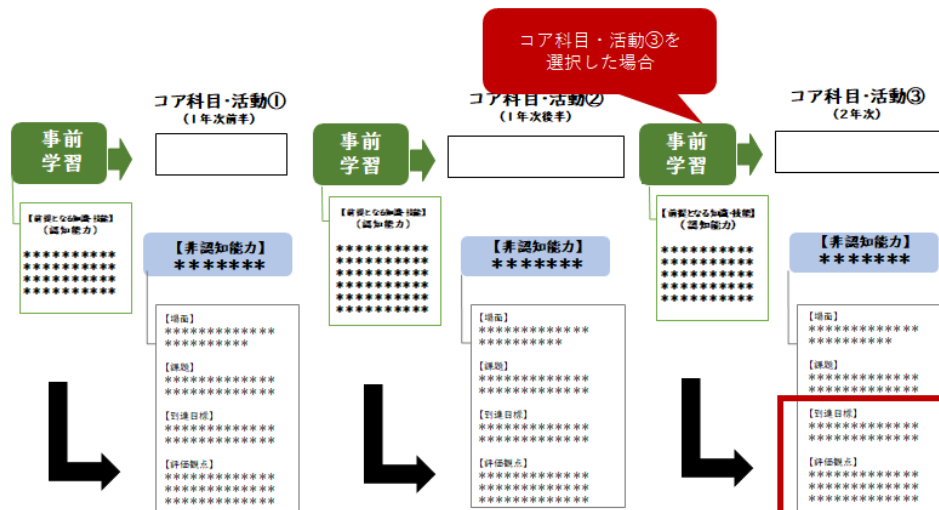
(6) 【個人で実施】

(5)で挙げた場面・課題の中で、何ができていれば、その非認知能力を十分に発揮できている（獲得できている）と評価することができますか。あなたが考える到達目標（ゴール≒理想状態）と、評価観点（※）を記入ください。

※評価観点のイメージ

例) 教科学習の評価観点: 「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」

接客の評価観点: 「みだしなみ」「言葉づかい」「商品知識」「話の効き方」「提案力」



【メモ欄】

*****「以降は研修当日に実施」*****

(7) 個人で作成してきた(4)～(6)の内容について、どのような共通点や差異があるかを
確認しましょう。

【メモ欄】



(8) (7)の共有をふまえ、学科・コースとしての1つの共通版【(4)～(6)】を完成させましょう。

資料②のシートを活用ください

(9) 完成させた共通版の「評価観点」の中から1つ選び、その観点にかかわる非認知能力の発揮
状況をどのような水準で評価すべきかチームで検討しましょう。

※何ができていると「水準をクリアできている」と評価できるのか 例) A/B/C 評価 等

※評価水準(基準)のイメージ【Can-do ベース】

	水準1	水準2	水準3
評価観点1			
評価観点2			
(教員個人が独自に 設定する観点)			

到達目標
Can-do ベース

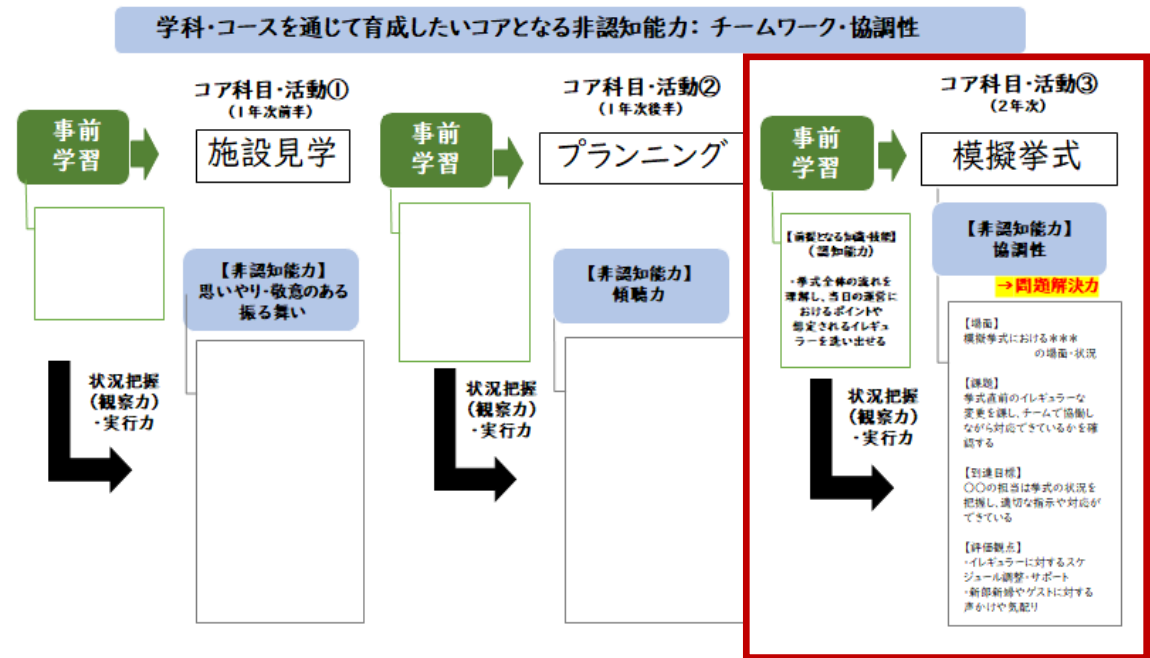
例) 就職活動演習・面談における「ふりかえり力」の評価

到達目標
Can-doベース

	水準1	水準2	水準3	水準4
評価観点1	観点1: 経験の意味づけ・価値づけ 言語化できないまたはしようとしていない	過去の行動について たとえどんなに苦しいながらも 語ることができる	過去の行動とその意図、感じたことなどを 率直に言語化できる	些細な出来事からも 気づきや教訓を引き出し 言語化できる
評価観点2	観点2: 自己を深く理解している 「自分はこのよう人間である」ということを表現できない	現在の自己に影響を及ぼした過去の経験や出来事について何かしら語ることができる	自分自身について強み・弱みや価値観、志向性など多様な角度から表現することができる (それぞれが点としてある状態)	過去の多様な経験がどのように現在の自分を形成しているか、相互に結び付けて語ることができる(一貫性のあるストーリーになっている状態)
評価観点3	観点3: 自己を肯定的に捉え表現できる 「自分はこのよう人間である」ということを表現できない	自己について語ることができるが否定的な要素が多い	自己について肯定的に表現できる	自己について、肯定的な感情が基盤にありながらも、肯定的な面・否定的な面をバランスよく客観的に認知し表現できる(ひとりよがりでない)

評価水準

★最終的な記入イメージ★



ワーク 2 用
シート

学科・コースを通じて育成したいコアとなる非認知能力：

コア科目・活動①
(1年次前半)

事前
学習

【前提となる知識・技能】
(認知能力)

【非認知能力】

コア科目・活動②
(1年次後半)

事前
学習

【前提となる知識・技能】
(認知能力)

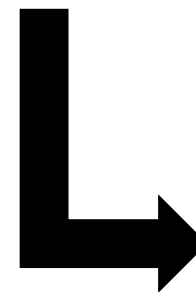
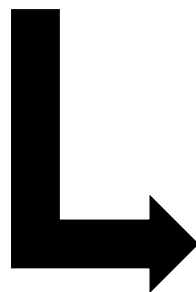
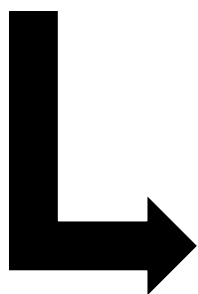
【非認知能力】

コア科目・活動③
(2年次)

事前
学習

【前提となる知識・技能】
(認知能力)

【非認知能力】



ワーク 3 用シート

非認知能力を
発揮状況を
確認する場面・課題

	水準Ⅰ	水準Ⅱ	水準Ⅲ	水準Ⅳ
観点①				
観点②				

4 時間目 ワークシート

●ワーク1

①日頃、学生の個性や特徴、その成長を、どのように把握し、どのようにフィードバックしていますか？

②上記のことを、教員間でどのように共有していますか？

③①や②を行う際の苦労や工夫点はありますか？

●ワーク2—①

【F さんの事例や、それに対する教員の声かけの例を見て、気づいたことや考えたことを記入してください。】

●ワーク2—②

【G さんの普段の様子や「個人シート」を例に、「非認知能力」の観点から、G さんの強みや、具体的な声掛けの内容を考えてみましょう】

1. G さんはどのような個性や特徴をもった学生さんでしょうか？

2. 非認知能力の観点に着目すると、G さんの「強み」はどのような点にあるでしょうか？

3. G さんに対して、教員としてどのような声掛けをすることができるでしょうか？

個人面談シート（Fさん）

氏名 _____
 学籍番号 _____
 担任教員 _____

学生記入欄	教員補足欄
1. 学習状況について <興味・関心が高まったこと、理解が深まったこと> 略 <理解が難しかったこと、学習が難しかったこと> 略 <来期の目標> 略 <その他、不安など> 略	
2. 生活面について <人間関係（学生同士、教員、その他）での不安はありますか？> クラスの子達と、積極的に関わることができませんでした。先生方とはお話をすることはできるのですが、自分から話しかけたりすることが苦手です。コミュニケーションに不安を持っています。 <その他の生活面での不安など、担任に知っておいてほしいこと> 人と話すことが重要な仕事を目指しているので、自分のコミュニケーション能力の低さが不安です。向いてないのでしょうか？	
3. 進路について <つきたい職業、企業など> 略 <現在の目標> 略 <現在の悩みなど> 略	

4. 自分の個性や強み・弱みについて <自分の個性・性格について> 内向的・集中力・繊細があたりはまります。 一方で、消極的なところがあると思います。 <自分の強み・弱みについて> 自己管理能力はある程度、強みかもしれません。ただ、コミュニケーション能力は弱みかなと思っています。自己肯定感も弱いです。	
5. 今期における成長の把握について <4であげた強み・弱みの項目について、成長したものについて> 演習などで前の方のようにしています。コミュニケーション能力をあげたいと思って、バイトも頑張っています。ただ、なかなかクラスメイトとうまく交流できないのが悩みです。 <そのきっかけについて> <来期の目標：どのような強み・弱みをどのように改善していくか> どうすればいいのか…。コミュニケーション能力の点でも、インターンシップなど不安です。	

※4・5の記入にあたっては、下記の2つの項目を参考に記入ください。

<個性・性格について>

明るい	自立心	学者肌	我慢強い	集中力	感情的	協調性	勤勉
謙虚	好奇心	合理的	行動力	社交的	柔軟	神経質	消極的
自己中心	誠実	繊細	素直	積極的	堅実	凝り性	責任感
常識的	のん気	大胆	短気	淡泊	緻密	直感的	独創的
道徳的	内向的	悲観的	批評家	優柔不断	慎重	冷静	優しい
楽観的	ユーモア	論理的	律儀	負けず嫌い	()	()	()

<強み・弱みについて>

コミュニケーション能力	協調性	主体性	自己管理能力
自己肯定感	実行力	統率力	創造性
探求心	共感性	道徳心	倫理観
規範意識	公共性	()	()

▽注 上記はあくまでたたき台です。()のなかに学科の重視する力をいれるなど、応用していきます。

個人面談シート（Gさん）

氏名 _____

学籍番号 _____

担任教員 _____

学生記入欄	教員補足欄
1. 学習状況について <興味・関心が高まったこと、理解が深まったこと> 略 <理解が難しかったこと、学習が難しかったこと> 略 <来期の目標> 略 <その他、不安など> 略	
2. 生活面について <人間関係（学生同士、教員、その他）での不安はありますか？> 友人関係は特に問題ないです。先生にもいつも助けていただいています。 <その他の生活面での不安など、担任に知っておいてほしいこと> 色々考えすぎて、なかなか行動に移せないことが多いです。	
3. 進路について <つきたい職業、企業など> 略 <現在の目標> 略 <現在の悩みなど> 略	

4. 自分の個性や強み・弱みについて <自分の個性・性格について> 慎重、優柔不断。 色々考えすぎてネガティブ（悲観的？）な方だと思います。 <自分の強み・弱みについて> コツコツ取り組める（勤勉？）かなと思う。行動になかなか移せない（優柔不断）。	
5. 今期における成長の把握について <4であげた強み・弱みの項目について、成長したものについて> 色々考えすぎてしまうほうですが、お客様のために何をできるかを考えることが大切、と授業で学んで、自分の考え方が何か活かせるんじゃないか、と思いました。でも、自分のすべきことでいっぱいだし、行動に移すのが遅くて、チームの為に動けていないと感じています。 特に、今年のオープンキャンパスでの出来事をすごく後悔しています。 受付係だったさんが席を外していたとき、受付に高校生が来ました。彼女たちが困っていたので声をかけようと思ったのですが、私は受付係ではないし、余計なことをして失敗したらどうしようと考えてしまい、何もできませんでした。 <そのきっかけについて> オープンキャンパス <来期の目標：どのような強み・弱みをどのように改善していくか> 「こうしたほうがいい」と思っても「本当に合っているのかな」と思い、なかなか行動できなかったり、チームの中で色々考えていても自分の意見を言えなかったりするので、それができるようになりたいです。	

※4・5の記入にあたっては、下記の2つの項目を参考に記入ください。

<個性・性格について>

明るい	自立心	学者肌	我慢強い	集中力	感情的	協調性	勤勉
謙虚	好奇心	合理的	行動力	社交的	柔軟	神経質	消極的
自己中心	誠実	繊細	素直	積極的	堅実	凝り性	責任感
常識的	のん気	大胆	短気	淡泊	緻密	直感的	独創的
道徳的	内向的	悲観的	批評家	優柔不断	慎重	冷静	優しい
楽観的	ユーモア	論理的	律儀	負けず嫌い	()	()	()

<強み・弱みについて>

コミュニケーション能力	協調性	主体性	自己管理能力
自己肯定感	実行力	統率力	創造性
探求心	共感性	道徳心	倫理観
規範意識	公共性	()	()

▽注 上記はあくまでたたき台です。()に学科の重視する力をいれるなど、応用していきます。